上町しぜんの国

園だより | 3月号　2022.3.11

え!?

（2022.2.7 永田記）

朝おやつの時間、Sくんがコップの中身を「ぶくぶくぶく〜」や「ぷはーっ」
と言いながらお茶を楽しんでいる。

すると、隣に座っていたHくんがSくんの方をじーっと見つめる。
私の方を向き直し、ニヤリと笑いながら指をさす。

H「え!?」

その反応を見たSくんの表情もニヤリとしていた。

Hくんは驚いたような、面白がっているような反応をする。
反応と喃語の抑揚が合わさって気持ちを乗せているような感じ。
Sくんの面白いが、Hくんにも伝わっていく。

最後の方は、Hくんの反応を楽しんでわざと「ぶくぶく」しているようでした。

3月の予定

※「子どもの声が聞こえてきたら」は後日特別版を配布いたします

子どもの声が　聞こえてきたら

AIか、人間か

青山　誠

　世の中がまたなにかざわざわしてきましたね。
　そんななかでも、子どもの育ちは止まりません。でもいったいなにがどう育っているのでしょうか。おとなは、「なにができたか、できないか」で子どもの育ちの成果を測りたいので、やれ三点倒立だ（逆立ち）、やれ富士山登頂だ（3歳で登らせる園もあります。たぶん高山病になります）、やれ割り算だ（幼児には割り算まで教え込むことができるそうです）と、まあいろいろ教育欲（欲望としか思えません）を燃やします。
でもそうした「成果」はほぼ小学校3,4年時には差がなくなり（幼児期に詰め込んだ子と、そうでない子の差がなくなる）、20歳のときの自己肯定感は早期教育を受けた子ほど低くなることが研究で示されています。
　一方で、「保育ロボット」も開発されています。AIが搭載されていて検温もできるそうです。そうなると人が人に関わり、育ち合う意義ってなんでしょうね。Kさんのエピソードから。

今日はなんかバタバタしている。それとも私の中だけだろうか、先週の疲れが完璧に取れないままなのか？なんだかザワザワした気持ちのまま午前中を過ごしていた。
お昼過ぎの前の部屋、大きい子たちの遊ぶ環境を整えた後たかテーブルに座ってごはんを食べようとしていた。
ラキュをし始めたYから自分の動物がないと言われる。
K「今日月曜だから壊しちゃったのかもよ。金曜日に」
その一瞬でYの顔がくもる。ラキュを出した時にはそこの途中箱には何もなかった。
Y「なんでだよ！おれがつくったのに！」
K「でも、ないよ。」
Y「みせてみろよ！」
K「ここ！ないじゃん！」
私も疑われてることにイラッと来たのか、強く言う。するとYはそこで大声で泣き出した。正直、怒って八つ当たりすると思っていたので驚く。
何度か横にいって、ないこと、前作ったものを撮った写真があることなどを伝えてみた。でもYの耳には届いてない様子。
Y「スージーがこわした！うわーん！」
K「壊してないよ！ないんだからしょうがないじゃん！」
はぁ、参ったなぁと思いながら、私もお腹が空いている。ほっておいてごはんをたべないと、私もこれに向き合えない。息が荒くなるのを抑えながらご飯を食べ始めた。
　泣いているYの周りにはMやH、K、I、HYなどが集まって、どうしたの？と聞いている。そして、Kが壊した、Yのかわいそうとの声が聞こえてくる。
私は居ても立っても居られず、
K「スージー壊してないって言ってるじゃん！月曜だし、ずっと残せないよって言ってこの前も写真撮って崩したからわかるでしょ！みんなYがないてるからYの味方してるだけじゃん！」
H「でもYこんなになくぐらいかなしかったんだよ」
いや、ごもっともです。ごもっともなんだけど、今の私には無理！
K「だからK壊してないって言ってるじゃん！もうなかったんだよ！」
Y「絶対Kがこわした。」
HY「Kがこわしたんだ！」
K「ちがうし！みんな大人がこうやって片付けしてそうじしてる気持ちわかんないんだ！片付けてないからさ！」
HY「Kが悪いよね、Y？」
Yはこっちを見ながら頷く。
I「Yくん、Iてつだってあげるからいっしょにつくろう？」
私は食べ始め、Yはラキュを始めた。私は食べながら周りに集まったYUとやYAと神経衰弱を始める。しばらくすると、
Y「Kみて、ライオンつくれるよ。」
そのライオンは金曜日に一緒にYとつくろうとして私が諦めたもの。
K「すごいじゃん。Kここで無理だってなった。」
よこにいた、Sも
S「そうまこんなのつくったよ。」
K「えー、カッコいい。」
そんなことを話しながら、Yがもう怒ってないなと感じる。
K「Y、さっきごめん、おこりすぎた」
Yは振り返らない。でも言えたからかスッキリした。
私は先週からなんか疲れていた。子どもと遊ぶのは楽しい、でもなんか自分に余裕がない。部屋の片付けも気になるし、ペンをそこら中に置いたまま次の遊びに行くのも、声をかけても返事されないのもちょっと！と言って呼び止めてた。自分の声うるさいなぁと。
　でも自分がやってないことで自分のせいにされて、関係ない周りの人にやいのやいの言われるのはやだった。大人が片付けして！の気持ちも本音だと思う。
自分の怒りは置いといて、Yが泣いている、その周りに子どもが集まる。そこには寄り添いがあった。Hの「こんなにいやだったんだよ」や、Iちゃんの「いっしょにつくろう」はなんて寄り添いなんだろうと帰宅後のお風呂で考える。

人はくたびれます。いつでも機嫌よくなんていられません。ときには誤解からケンカにもなります。言い過ぎちゃったりもします。でもだからいい。AIは間違いを補正してしまう。でも人は間違いを補正はできず、また同じようなことを繰り返す。でも、だからいい。だからこそ相手に歩み寄ったり、人として関わりあえるのではないでしょうか。そして子どもたちになにが育っているか。言葉や理屈を越えて、寄り添える力。それぞれの子が、ちゃんと人と人との「間」を感じとり、近づいていくのが感じられます。おとなを権威としてみなさず（これは保育者たちの保育の成果でしょうが）、人として意見を言える自己肯定感。なんだか言葉にすると陳腐ですね。閉塞感のある世の中ですが、子どもたちを見ていると一陽来復、いつでも春はもうすぐそこのような希望を感じます。

しぜんの国のキッチンより

干し芋づくり

毎週金曜日の朝のおやつは干し芋。
人気の朝おやつです。
先日、キッチンで干し芋を作ってみました。作り方はとっても簡単。

レシピ

①さつまいもを皮つきのまま洗って、まるごとふかします。
竹串をさして、すっと通るくらいが目安！
②柔らかくなったら、ナイフで皮をむき、薄く切って、干します。
5㎜幅くらい。食べやすい大きさでOK！
③３日間ほど天日干しをしたら、できあがり。
お好みの硬さに干してみてください！

テラスで干し芋を干していると、味見をしにくるＳちゃん。
とってもいい笑顔でした。
出来上がった干し芋をすこーし焼くと、とっても良い香りが。
朝のおやつにみんなで食べました。
噛めば噛むほど、さつまいもの甘さが広がる手作りの干し芋は大人気でした。

卒園に向けて

キッチンの窓から見える梅の花がほころび始めると、卒園が近いんだなぁと寂しい気持ちになります。
毎年３月の献立には、いちばん大きい子のリクエストメニューを取り入れています。

◎今年のリクエスト
・カレー　・ハンバーグ　・納豆チャーハン　・ぬか漬け　・ハンバーガー　・ケンタッキー(?!)
・ラーメン　・寿司　・コーンパフ　・ケーキ　・ドーナッツ　・アイス　などなど

一人一人のリクエストを眺めながら、ただ美味しかったから、だけではなく、友達と一緒に作ったり食べたときの楽しかった記憶や、保育園で食べられたらうれしいなという期待など、それぞれの思いが詰まっているんだろうなと想像してしまいました。
献立表の★マークをチェックしてみてください。

– キッチン　峯元・山崎

保健だより

暖かい日も増えてきましたね。
園庭の梅の花が春の風に舞って花吹雪になっています。

新型コロナ感染症の罹患の波は少しずつ引いていますが、引き続き登園中の子どもの様子に気を配りながら、換気の良い環境にて保育をしていきます。

子どもの場合、新型コロナ感染症になっても、大体の場合は高熱が１～２日続いてその後はすぐに熱が引き、よくなっていく、というパターンが多いです。

最近は、『子どもの後遺症』に関して「倦怠感」「睡眠障害」「脈が速くなる」「下痢をする」などが長期化してしまうことが言われています。
幼児は自分でうまく自分の症状を表現できませんので、私たち大人が気づいていく、ということが必要になってきます。
こちらでも、注意してみていきますが、お家でも、何か不機嫌な状態が長く続く、何か違和感を感じる場合には、無理をさせずに受診することをお勧めします。

– 看護師　通山

◎感染症状況（2月中）：登園証明書の必要な感染症０名、新型コロナ感染症 27名

職員の声

保育園の庭に見事に咲いている
梅の花。この梅の花を見ると、初めて
ここに来た、この時期のことを思い出して
その時の写真を見返したくなります。
今年も見てみると…なんときれいな庭…！笑
あまりの違いにびっくりしてしまいました。
この梅の木は、その変わっていく様子を、
ずっと見守ってくれているんだなあ…。
是非、庭の梅の花にも目を向けて頂け
たらと思います❀　ハマジマナツミ

園庭の梅の花が満開です。
家の小さながじゅまるの木も、
新しい枝葉が出てきました。
ゆっくりと春が近づいて
いるのですね。
最近引っ越しをしたので、
がじゅまるがぐんぐん育ち
そうな、いい場所を家の中で
探しています。　及川

先日、羽根木公園へ
梅を見に行きました！
色々な種類の梅がたくさん咲いて
いて、こんなに種類があったのか!!と、
梅の魅力を改めて知りました✿
キッチンの窓からみえる、園庭の梅の
花も、きれいで大好きです☺
キッチン　久保田

千歳船橋に引っ越してきて5年。
1年目、ベランダから東京タワーが見えました。
3年目、渋谷スクランブルスクエアが完成し、東京タワーを遮りました。そして今、マンション建設中の仮囲いが目の前の空を四角く切り取っています。まさに「行くりの流れは絶えずして…」ですが、「これ以上新しいもの建てなくていいし、あるもんで済ませろ～」と強く思うこの頃です。
井上ななこ